

事業名	県立高校施設開放事業費			調査番号	110
細事業名	県立高校体育施設開放事業費	財務コード	163301		
担当部課室	教育委員会	スポーツ健康課	生涯スポーツ	担当 (内線)	8413

事業の概要

実施期間	始期 S50 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に 地域住民	その対象をどのような状態にして 日常生活におけるスポーツ活動の機会が促進されている	結果、何に結びつけるのか 健康で文化的な生活の推進
	内容 開放施設: 県立高校屋外運動場、体育館、武道場 開放日: 平日夜間及び休日の昼間 開放時間: 平日夜間 午後7時30分~午後9時30分、休日 午前9時30分~午後4時30分 開放日の施設管理: 校長が委嘱した管理指導員 開放施設の修繕		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	開校実施校	目標	24	24	24	24	23	23	23
		実績(見込)	21	20	20	19	18	17	
		達成率	87.5	83.3	83.3	79.2	78.3		
		達成区分	b	b	b	c	c		
成果指標	利用者数	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
		実績(見込)	46,252	53,743	48,010	50,483	43,306	50,000	
		達成率	92.5	107.5	96.0	101.0	86.6		
		達成区分	b	b	b	b	b		
決算(予算) 単位: 千円		11,241	13,844	9,498	9,192	9,368	9,477	8,838	

事業の評価(平成27年度の業績評価)

活動指標	c	評価	桂高校の開校に伴い開放事業が都留興譲館高校へ移行したが、グラウンド整備のため開放準備中であることと、甲府西高校の体育館が修繕のため一時利用できなくなったため、利用者数が減少した。
成果指標	b		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(次のとおり)		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない
	説明	地域住民のスポーツ施設利用の機会を確保することにより、健康づくりに期待ができる。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他()		
その他	説明			
見直しの必要性	有	予算の執行残があるため、執行状況を整理し、予算の減額を検討する必要がある。		

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)

縮小	説明	平成29年度予算編成に当たり、過去の実績を参考に、開放日の予定日数の見直し等を行い、予算要求額を減額した。
----	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。